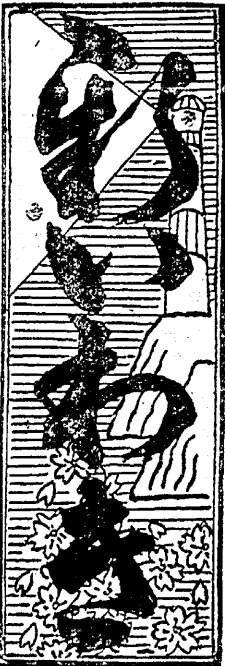


刊夕 日一十月六



日刊日シ日曜日誌
日休日一ヶ月廿五
郵税十五錢一月
廣告料一頁一
發行所 牛谷政
石城郡平野町大町三
新島平野町大町三

常識講座

ライフ・オフィス
生命保険のこと
イフは生命、生活、人
生の綱で消防隊などが
使ふ救助網はライフネ
ット、死活の問題、必
死懸命のことをライフ
アンド・デスと云ふ、

かけた形跡あるも遂に余
し前記引出火警様の金棒で
コブ解け腕時計のみを撰んで
他に衣類があつたものへ一切
目をくれず尚ほ金庫中の金
時計その他高価なものに被害
がなく難難の時計はクロム
類であるため幸ひに贓品額は
少なかつた賊は三十才位或は
鮮人でないのかと想像されて
ゐる

同村飲食店高木木上方抱酌婦
千葉縣夷隅郡龍元村の石神六
〇三伊三郎二女坂輪とく(三三)
と手を携へて逃走したがとく
には二百三十圓の前借があり
其れを踏み倒す入罪意識や誘
拐の形跡あるので抱主から次
弟を添えて平野署に捜索方を願
ひ出た

満州行の父の
面會が詐欺手段
石城郡江名町の中作料理店
春月事阿部春吉方抱を酌婦東
京市浅草區清川町生れ武井方
め(三三)は去る三日義兄に當る
東京市下谷區上根岸町和田博
が春月を訪ねて實父が満州へ
行くことになつたから出立前
に一目會はして置きたいと抱
主の承諾を得て主人側の代理
者附添え前記義兄の許に伴は
れて父との面會後直ぐ歸る筈
を展らぬ爲め抱主から苦情を
受けた博は都合があつて歸せ
ぬから前借四百二十五圓を百
五十圓にまで戻れ其れが出
來なければうめを返されぬ
と春月方の數回の交渉に頑と
して應ぜず計画的の前借詐欺
だと昨日平野署に訴へられた

精神異常の女給
自殺を口走つて保護
内郷村の緩徳之助次女秋川い
ね(三三)は田村郡小野新町カフ
ニス・ブラン方の女給をして
ゐたが精神に稍々異常を呈し
同店のコック佐藤辰雄(三三)と
懇ろになつたが行末不安だか
らと小野新町署に眞疑不明の
右を訴へ生きてゐてもつまら
ぬから死んで終ふと同署裏山
にかつて死んだので棄て、署に
伊太利が跡をつけて見ると猫
イラズを所持してゐるので同
署に保護前記辰雄を参考し調
べて見ると左様な關係があり
そうでもなく昨日午後平野署
に身柄を送られ同署に保護今
十一日親元に引渡された

青果市況
平中央青果卸市場(調)
青物 高値 安値
玉葱 (買) 一三〇 〇
玉葱 (賣) 一三〇 〇
胡瓜 (買) 一三〇 〇
胡瓜 (賣) 一三〇 〇
大根 (買) 一三〇 〇
大根 (賣) 一三〇 〇
蕪 (買) 一三〇 〇
蕪 (賣) 一三〇 〇
茗荷 (買) 一三〇 〇
茗荷 (賣) 一三〇 〇
山菜 (買) 一三〇 〇
山菜 (賣) 一三〇 〇
馬鈴薯 (買) 一三〇 〇
馬鈴薯 (賣) 一三〇 〇
サヤ豆 (買) 一三〇 〇
サヤ豆 (賣) 一三〇 〇
バナ (買) 一三〇 〇
バナ (賣) 一三〇 〇
櫻桃 (買) 一三〇 〇
櫻桃 (賣) 一三〇 〇

成績良好な養蠶に
上簇間際で桑不足

石城郡の養蠶は大部分上簇期
に近づいたが蠶作良好で途
者全くなき其の爲め桑の需
を増加して左なきに僅少の
不足を氣遣はれていた桑葉に
大不足を告げ蠶兒の食慾旺盛
期を控いて蠶家の狼狽一方で
賀那方面から毎日二十台に近
く平野署前消防事務所上
に警備委員会を開き日本消防
機株式會社から社員の出張を
出すと

平消防組では自動車ポンプ更
に一台の増設を計し本年度
豫算に六千圓を計上してゐた
が右の購入に關し十一月廿
九日平野署前消防事務所上
に警備委員会を開き日本消防
機株式會社から社員の出張を
出すと

平消防組に於て
自動車ポンプ増設

六千五百五十圓で優秀機を
警備委員会で購入可決

石城郡の茶種栽培は近年益々
増加を遂ふて其の品質に於て
も優秀なるを認められてゐる
が該製作収入は農村の經濟を

茶種栽培で納税
一反歩の責任耕作

石城郡草野村の經更申合せ
五百の農家で一萬余圓

石城郡の茶種栽培は近年益々
増加を遂ふて其の品質に於て
も優秀なるを認められてゐる
が該製作収入は農村の經濟を

一戸當り一反歩の茶種栽培
増を明年から必ず實行すること
となつた同責任耕作で得ら
れる收穫は平年作にありて一
千二百俵を産し一俵九圓五十
錢と見て一萬一千四百圓に達
し農家の納むる特別戸數割は

共販米ごんな値か
氣配は依然下らず

今日の出荷千二百四十三俵
買手側では相當警戒

石城販賣聯合會の依米共販値
は高騰から高騰へ前同本月一
日の取引は遂に十二圓五十一
錢の高値を唱ひ購販兩者にも
大抵頂上の調かと云はれてゐ
たが去る五日の四倉驛前大浦
農倉の共同販賣は更に十二圓
六十三錢に騰騰し天候不良に
よる收穫不安の取越し苦勞に
殆んど濟度なき觀を呈しては
ゐるもの、各商人には相當の
警戒を見せつゝ尚ほ強氣配を

今朝午前二時頃
多田井質店に賊

硝子窓を破壊して忍び入り
腕時計三十個の盜難

平野署大工町の多田井質店方
に今日午前二時頃賊忍び
入り店内の引出に堅く納めて
置いた時計三十個を窃取さ
れてゐるのを家人の起床後に
発見届出でと同時に平野署員
取調べ中であるが當夜は主人
多田井質店氏が柳津虛空藏

佐渡から伊香保
団体旅行

三泊四日間で
十三圓九十錢

平野署では来る十六日同署出發
の水戸運送事務所主催佐渡か
ら伊香保の団体旅行に非常な
成績を上げてゐるが同団体は
本年三回目の出發で旅程は勝
太郎の「島の娘」で名を上げた
余波情緒を味はふ同島泊りに
新潟及び伊香保泊りの三泊四
日會費は十三圓九十五錢希望
者は出發の間に合ふやう至急
申込みたいと

酌婦二百卅圓の
前借踏倒し逃走

石城郡好間村の北好間田川
炭礦三瓶組飯場方居住村郡
二瀬村の田母生利朝倉勘治
(三三)は去る七日午前五時過ぎ

精神異常の女給
自殺を口走つて保護

内郷村の緩徳之助次女秋川い
ね(三三)は田村郡小野新町カフ
ニス・ブラン方の女給をして
ゐたが精神に稍々異常を呈し
同店のコック佐藤辰雄(三三)と
懇ろになつたが行末不安だか
らと小野新町署に眞疑不明の
右を訴へ生きてゐてもつまら
ぬから死んで終ふと同署裏山
にかつて死んだので棄て、署に
伊太利が跡をつけて見ると猫
イラズを所持してゐるので同
署に保護前記辰雄を参考し調
べて見ると左様な關係があり
そうでもなく昨日午後平野署
に身柄を送られ同署に保護今
十一日親元に引渡された

世界行くか

實した經濟力がなければなら
ない。私はシベリヤを旅行し
た時に、あのシベリヤの廣漠
たる大平原は、太平洋の如くに
見えた。かゝる大平原を有す
る國を、日本が息の根を止
め、この平地を占領する迄に
は、その背後に充實した經濟
力がなくてはならないと、常
識的に判断を下したのである
から、即ち食へない爲に起す
投資をせねばならないのであ
る。

午さんの溺死

石城郡水戸村の渡戸地内用水
堀に今日午前四時頃老人
の溺死体あるを發見届出で
より平野署から菊地部長出張し
たが死者は同地草野清之助方
の同居人午さんと呼ばれて
ゐる午吉(七七)と判つた

加納邦武
外親戚一同

謹啓 亡父五郎葬送の際には遠路
の處御會葬被成下且つ御鄭重な
る御香奠を賜はり御厚志の段難
有奉深謝候拜趨御禮可申述の處
乍略儀以紙上御禮申上候 敬具
昭和十一年六月十一日

